

## かんちゃんのお遍路さん（2）

泉州労山 管和彦

（編集者・注）この報告は、2013年春の管和彦氏の四国遍路37日間通し歩きの記録です。

### 「四国八十八ヶ所遍路」の計画と心構え

私は2013年5月12日～6月17日まで四国遍路を行い、八十八ヶ所一周およそ1200kmを37日間かけて歩いて来ました。一番悩むのは「計画段階」です。

#### （1）下調べ

書店で「四国八十八ヶ所お遍路」に関する本や仏教に関する本を買って調べました。次にネットから情報を集め、基礎知識や書籍や体験談などを調べました。結果は、まあ～色々あって十人十色で遍路一人ひとり全部まわり方が違うんですね。遍路と一口に言っても、順打ち・逆打ち。何回かに分ける区切り打ちや一度に回る通し打ち。札所八十八ヶ所のみ、番外札所二十、番外霊場やゆかりの寺。バスツアーや自動車・単車・自転車や歩き。有料の一般宿泊施設や宿坊利用、善意無料のお寺の通夜堂・地域のお堂・個人の善根宿や遍路小屋、道の駅・店舗の軒下・公園の東屋・バス停等で野宿。費用も十万～百万円、平均45万円。単独、夫婦と千差万別でした。

#### （2）計画

次第に案が固まり、山岳会で鍛えた体力に物を言わせて通し歩きと、同じく山岳会で鍛えた野宿術？を駆使した野宿を基本にして最小限の費用で。と言う事になり、計画は所要45日。1番札所から88番札所そして1番札所へ戻る、途中の番外霊場やゆかりの寺にも少し寄る。全行程歩きで、連続して1回で巡る。宿泊はツェルトとシュラフを使い野宿で、うまく出会えば遍路用無料宿泊施設を利用。に決まりました。

#### （3）不安

心配な事は「お遍路って何をやるの？作法？通しの歩きの実態？野宿の実態？寝る所の確保？食事は？風呂は？洗濯は？着替えは？怪我や病気になったら？雨が降ったら？地域の人に怪しまれたら？動物や強盗に襲われたら？お金はどうする？携帯やカメラの充電は？他の遍路さんより見劣りして馬鹿にされないか？」等々、調べるほどに不安が増してきました。これは無理かもと思い始めました。

#### （4）案ずるよりも産むがやすし

先に結論を言っておくと「心配無用。遍路を始めれば不安解消。」でした。2～3日も経てば立派なお遍路さんへ変身できます。歩き遍路はほとんどの人が単独で歩き、やり方は全員異なります。だから他人と比較しない！これが重要でした。出発後でも、遍路方法や装備など変更できます。私も、使わない装備を三度家に送り返しました。

#### （5）社長と言えども歩き遍路を始めたその日から乞食

準備段階では全く知らなかったけれど、歩き出すと初めて自分の立場に気が付きます。

歩き遍路を始めた日から、過去の経歴は一切消えてしまい全員乞食になります。毎日空模様を見ながら、衣食住を求めて歩き、道中で出会う人の好意に助けられ歩きます。  
(次回は、準備の実例～スタート前夜泊までを報告します。)

